

資源評価部

Stock Assessment Division

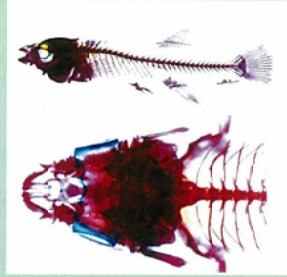
研究の内容

- ・黒潮域及び周辺海域の水産生物の資源動態及び評価と管理に関する調査研究
- ・水産生物の生理と生態に関する調査研究

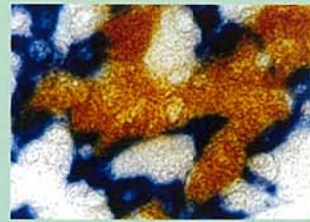
生理特性研究室

Physiology and Biochemistry Section

資源生物の繁殖・成長等の生理的特性や環境変動が魚類の生理に及ぼす影響のほか、資源の系群構造に関する研究を行っています。



骨(赤)と軟骨(青)の二重染色



二重免疫染色法を用いたホルモン産生細胞の染め分け

生態特性研究室

Fisheries Ecology Section

マイワシ・カタクチイワシ・マアジ等小型浮魚類の卵や仔稚魚について生態学的な研究を行っている。



稚魚定量採集トロールとGPSブイ追跡による摂餌生態の解明

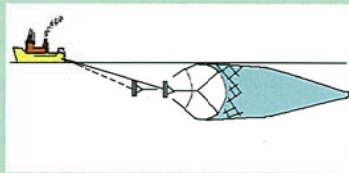


サルエビ種群の再検討と新種ナンセイサルエビ(下)の記載(上はサルエビ)

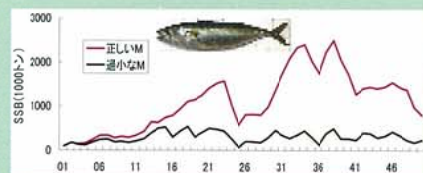
資源動態研究室

Population Dynamics Section

マサバ、マイワシ等の水産資源の動態の解析とこれを踏まえた資源評価と管理の研究を行っている。



マイワシ、マサバ等などの加入量予測が黒潮親潮移行域の表中層トロール調査で可能になった

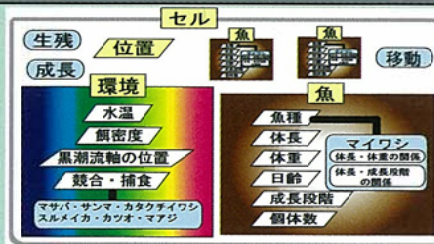


自然死亡係数MIに応じたマサバ親魚量SSBの年変化の一例

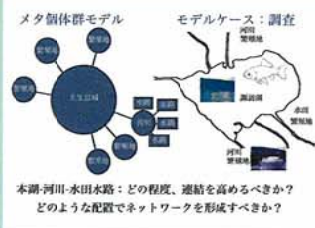
数理解析研究室

Mathematical Biology Section

数理的な手法を用いて、生態学的プロセスの理解、管理手法の開発の基礎となる研究を行っている。



他魚種の影響、環境要因を組み込んだマイワシ生活史空間モデル



本瀬-河川-水田水路：どの程度、連結を高めるべきか？
どのような配置でネットワークを形成すべきか？

淡水魚生息域のネットワーク形成技術